

甥っ子が1月からエストニアに1カ月出張しています。彼は独立系の投資会社の社員です。日本の大学を出て、アメリカの大学院に行き、約10年前のシリコンバレーのスタートアップ旋風を目の当たりにしました。その影響は凄まじく、帰国後まわりの反対をとにかく押し切って、超高学歴なのに大手には勤めず、高校の友人たちと会社を立ち上げました。しかし世の中は甘くはないものです。3年間死に物狂いで頑張りましたが、ステイブ・ジョブズ、マーク・ザッカーバーグ、イーロン・マスクになる芽は全く出ず、会社設立3年目で投資を受けていた会社に吸収される形で彼のシリコンバレー物語は終わりました。その後投資される側から投資する側へ立ち位置を変換、将来性のある新規事業を探し出し、それに投資する仕事に就いたのでした。

エストニアについては一般的にあまり知られていませんでしたが、今年1月12日、安倍総理が欧州訪問の第一番目の国として訪れたことで一気に認知度と存在感が高まりました。IT、特にセキュリティ情報産業の世界ではイスラエルと並ぶトップレベルの国（残念ながら日本は違います）として以前から有名で、多くの投資家、企業家が訪れています。

『エストニアの若さとスピード感』

文 朝倉匠子 text by Shoko Asakura

元大関把瑠都はエストニア出身です！

甥っ子曰く「1991年にソビエト連邦（ロシア）から独立した若い国で首相が40歳で、国の中枢が35歳前後。その彼らが国を動かしているの、仕事のスピード感や情報処理能力は今の日本には存在しないほど凄い」と。

変化するスピード感と価値観についていこうと日本の大手企業でも「働き方改革」が真剣味を帯び、例えば役員になる年齢を一気に下げる所が出てきました。40代の役員の登場です。企業は真剣に若返りを図っています。

ということは自分の頭をいきなり越される悲哀を味わう人がたくさん出現するということ？「市場価値のある自分づくり」、これまで散々言われてきましたが、日本も待った無し状況になってきました。我々世代の底力、見せてやろうじゃありませんか。



「35歳からのダイエット革命 (Discover21)」
定価1,404円(税込)
好評発売中



Profile

広島生まれ東京育ち。青山学院文学部英米文学科卒業。学生時代よりコマーシャルモデルとして活躍、その後テレビ司会者や経済インタビューとして活躍し、渡米。10年間メディア活動を休止。その間カリフォルニア大学で「NPOマネジメント」及び「ジェロントロジー（加齢学）」を学び、「エイジング・スペシャリスト」として再びメディア活動に復帰。「能動的・精神的・美的加齢法」をベースに医療や心理学、社会学等最先端情報と連携しながら、多くの方々と共に年齢を積み重ねることの楽しさ、自信、そして若々しさ、美しさを育てる「アクティブ・エイジング」を提唱する活動を行っている。現在、NPO法人アンチエイジングネットワーク理事、日本抗加齢医学会正会員などで活躍中。